

## 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホームアンジュ

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和 7 年 5 月 29 日 (木)

開催場所…アンジュ 1 階

出席者

事業所	4 人	利用者	0 人
利用者家族	0 人	地域代表者	2 人
松江市職員	1 人	包括支援センター	0 人
知見を有する者	0 人	その他 ( )	0 人

議事

### 1, ご利用者の状況

○入居者数 1F すみれユニット 8 名 (女性 8 名) 空き 1 部屋

2F つばきユニット 9 名 (男性 1 名、女性 8 名)

○年齢 78 歳～94 歳 (平均年齢 85.9 歳)

○要介護度 要介護 1～5 (平均要介護度 2.5)

### 2, 活動内容

・各ユニットのおたよりから説明

3 月号 → ひな祭り等

4 月号 → 花見外出、ドライブ、おはぎ作り等

### 3, その他今後の予定等

・外出支援、ドライブ、七夕会等

### 4, 職員の活動等について

・3 月 年度末総括

### 5, 令和 7 年度重要取り組み事項、各ユニット目標について

#### 【重要取り組み事項】

昨年度は外出の機会も増え、施設内行事も度々合同で行うことができました。引き続き外出支援、季節ごとの行事計画を遂行し、利用者の方の生活の質 (QOL) が向上できるよう支援していきましょう。

日々の生活を支援するためには、『認知症』という病気について職員がしっかりと理

解することが重要になります。

定期的に認知症ケア、身体拘束、高齢者虐待、看取りについての勉強会を行っていますが、職員一人一人が理解を深めるためには、資料に目を通すだけではなく、今行っている自分自身のケアを客観的に見つめ直し、勉強会等で得た知識をどのようにアウトプットしていくのかが最も重要です。またそれを全体のチームケアに繋げていくことも大切です。

アンジュの理念にもあるように、利用者の方が自然体でくつろぎのある空間で暮らし、毎日安心して過ごせるよう、全員で認知症介護の質を高めていきましょう。

### 【1階すみれユニット】

- ・利用者のやる気を尊重し、見守りを行い生活意欲の向上に努める。

### 【2階つばきユニット】

- ①共同生活の中でも様々な活動を通して、利用者様の日々の楽しみや安心できる気持ちをユニット全体で共有できるようにケアを行う。
- ②利用者様の気持ち、「したいこと」などを職員は理解できるように努め、困ったことがあればすぐに話し合いできるチームの体制作りをしていく。

## 6. 意見交換

### ○介護保険課からのご意見・ご感想

- ア) 医療の保険証について、資格確認証が各世帯に届くとお聞きしてますが、手続きは不要で大丈夫でしたよね？  
→ 資格確認証については、保険年金課が担当しています。7月中に届くと思います。

- ア) 集団指導はありますか？

→ 8月ぐらいを予定しています。

### ○地域の方からのご意見・ご感想

- ・6月12日に清掃活動を行います。
- ・西津田敬老会は9月の中頃を予定しています。
- ・職員は不足してないですか？

### ※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	<input type="radio"/>